

第 8 回 網走 開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 22 年 2 月 1 日 (月) 網走開発建設部 第 1 会議室	
委員	大島俊之 (北見工業大学教授)、高橋 清 (北見工業大学准教授)、 辻 修 (帯広畜産大学教授) (五十音順)	
議事	<p>1 平成 22 年度総合評価落札方式等の変更点について</p> <p>2 総合評価落札方式の実施状況について</p> <p>3 プロポーザル方式業務の審査について</p> <p>4 個別審査</p> <p>①平成 21 年度総合評価落札方式実施工事の事後審査について</p> <p>②平成 21 年度総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について</p> <p>③プロポーザル方式業務の事後審査について</p> <p>④プロポーザル方式業務の事前審査について</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
	意見・質問	回 答
	<p>【平成 22 年度総合評価落札方式等の変更点について】</p> <p>今回の「地域精通度の配点の減」の改訂は、今まで当委員会で議論してきた「地域精通度の拡充」と逆行する形となっている。</p> <p>上部機関で決められたのであればやむえないところではあるが、決定にいたるプロセスを教えて欲しい。</p> <p>また、当委員会委員も決定プロセスに参画できる (意見を言える、聞ける) システムの構築を局及び局の委員会に伝えて欲しい。</p> <p>「地球環境対策」は非常に良い取り組みであったのに 1 年あまりで廃止してしまうのか。</p>	<p>局からは、「これまで開建ごとに様々な運用がなされていた評価項目及び配点について、可能な限り固定 (統一) を図る。」と聞いている。</p> <p>決定プロセスは、局内部で案を作成し、技術管理官会議等で各開建の意見を聴取し、局の総合評価審査委員会委員の意見も踏まえて決定している。</p> <p>地球環境対策については、現在、ほとんどの入札参加者が得点しており、建設業者の地球環境対策への意識向上の目的は果たせたと判断し、廃止という結果に至った。</p> <p>ただし、北海道開発局としては継続して環境対策に取り組んでいくこととしており、入札時については、技術提案又は施工計画の配慮事項の中で、工事内容に応じて環境対策を適宜評価可能としている。</p>
	<p>【総合評価落札方式の実施状況について】</p> <p>逆転率は 9 % だが、去年は。</p> <p>今回の改訂内容で逆転率は上がるのか下がるのか。逆転している 18 件で検証して欲しい。</p>	<p>7 % である。</p> <p>逆転率の動向は結果なので一概には言えない。検証は行う。</p>

【プロポーザル方式業務の審査について】

プロポーザル方式と総合評価落札方式と比べて、どちらが作業量（手続き、審査等）が多いか。

【個別審査】

①平成20年度総合評価落札方式実施工事の事後審査について

北海道横断自動車道 訓子府町 シルコマベツ改良工事(簡易型)

チェック表は全ての工事であるのか。

評価は誰がしているのか。

「技術提案」は現場監督員に伝わっているのか。

②平成21年度総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について

網走川改修工事の内 上美幌橋上流河岸保護工事(簡易型)

水質に配慮しなければならない工事と思われるが、そのあたりを技術提案で求めるのか。

③プロポーザル方式業務の事後審査について

網走管内国有港湾施設維持管理計画策定業務

技術士の資格は他部門も対象としているのか。

④プロポーザル方式業務の事前審査について

網走地域気象流量観測調査業務

この業務は特に「地域精通度」を考慮すべきでは。

「特定テーマ」の評価には時間がかかっている。総合評価簡易型では、特定テーマは無く実施方針のみなので、総合評価標準型又はプロポーザル方式から比べれば作業量は簡易である。

工事によって様式は違うが、工事ごとに着目する項目を設定している。

事務局（課長補佐以下）で案を作成し、部の技術審査会で審査する。最終的には部長も入った入札契約手続き等運営委員会で決定する。

提案内容は契約上の履行内容となる。監督員にも示している。

「特記仕様書」にて水質の管理値等を示しており、「施工上配慮すべき事項」で参加業者が具体的方法について記述することを期待している。あらかじめ内部でチェック表により「水質汚濁防止対策」を着目する項目として設定している。

技術士資格は業務によっては、建設、水産、農業の各部門及び総合技術監理部門を対象としている。

専門分野の精通度については、業務の実績を資格要件としている。

評価項目で「網走管内の業務実績」を評価し加点している。また、特定テーマにおいて「積雪寒冷地における・・・」と地域の特殊性を考慮している。